

学園ニュース

富山大学
No.31

編集 学園ニュース編集委員会 発行 富山大学

昭和54年12月14日

マインツからもどって

教育学部助教授 竹内 茂 弥



マインツの旧王宮

昨年10月8日から、西ドイツのマインツ大学(正式にはJ. グーテンベルク大学)で文部省在外研究員として1年間を過ごしてきたが、今、“マインツからもどって”ドイツで見たこと、あるいは感じたことについて少しお話ししたい。去る6月に“マインツより”投稿した、学園ニュース第30号の原稿にも述べたように、マインツ大学は学生数約2万名の総合大学で、26部門の専門領域(Fachbereich)からなり、各専門領域はさらにいくつかの研究科から構成されている。私の所属した有機化学研究所は“化学”の専門領域に属し、ここには他に無機および分析化学、核化学、物理化学、生化学の

各研究所があって、“化学”全体の学生数は約1000名とのことであった。私の専門とする高分子化学の分野では、マインツ大学は西ドイツにおける中心であり、高分子化学の創始者 H. Staudinger(1953年ノーベル化学賞受賞)の直弟子のW. Kern 教授, G. V. Schulz 教授も名誉教授として健在である。私は、W. Kern 教授の弟子で現有機化学研究所長の R. C. Schulz 教授のもとで“共役ジアセチレンの重合に関する研究”に従事したが、研究室は一般に教授のほかに秘書1名、助手4~5名そして女性の実験助手2~3名、さらに研究所として機器分析室、薬品庫、工作場等にも十分な職員がおり、研究者は研究にのみ専念できるように配慮され、学問を重視するドイツの大学の姿勢がうかがわれた。研究室の清掃にも十分な経費が使われており、毎日清掃会社が研究室の清掃をしていき、3ヶ月に1回ぐらいは窓ガラスの清掃もしてくれる。うらやましい限りであった。

一般にドイツの大学生は非常によく勉強し、そして又非常によく遊ぶ。芝生の上、建物の片隅などにかたまって、プリントを片手に議論している姿をよく見かける。毎週のように試験があり(研究室の助手が毎週試験の採点をしていた)、成績の悪い学生は容赦なく落第させられる。一方、夏期休暇はマインツ大学では約3ヶ月もあり、学生達はこの間南へ北へと旅行に出かけ休暇を楽しんでくる。研究室の学生のほとんどが3週間ぐらいイタリア、ギリシア、スペイン等へ旅行に出かけ、休暇を心ゆくまで楽しんでいる様だった。このことは学生のみならず、教職員についても、又一般

市民についても同様である。例えば、研究室の女性実験助手なども、日頃は朝の7時過ぎには大学に来て、午後の4時半まで非常によく働く。あまりよく働くと「そんなに仕事が楽しいのか？」と質問したところ「それが私の仕事だから」という返事が即座にもどってきた。しかし、夏の休暇はやはり2～3週間はタップリと休んで生活を楽しんでいる。

1年間ぐらいの滞在では、ドイツ社会あるいはドイツ人について云々する資格はないと思うが、一般的にドイツ人は生真面目でよく働くが（職業意識が強い）、日本のように残業してまで働くということは少なく、

自分達の生活を大切に、人生を楽しんでいる様であった。又、非常に親切だが、親切を通りこして少々おせっかいすぎることもある。知人（日本人）と2人で、彼の父親のコートを買に行った店で、店員から寸法が大きすぎると云って仲々売ってもらえず、日本から寸法表を送らせ、2回目ようやく希望のコートを買うことができたが、これなど親切を通りこしている感じがした。……様々の思い出を残して、本年10月5日の午前2時フランクフルト空港を飛び立ち、翌6日午後成田に帰国した。 以上

新 任 教 官

- 小畑 正明 助教授（理学部） 54.9.1
昭47. 3 金沢大学大学院理学研究科修士課程修了
昭52. 6 マサチューセッツ工科大学博士課程修了 Ph. D.
担当：地殻進化学
- 森蘭 英輔 教授（経済学部） 54.10.1.
昭44. 3 一橋大学大学院商学研究科修士課程修了
担当：管理会計
- 棚田 良平 教授（経済学部） 54.10.1.
昭27. 3 東京商科大学卒業
担当：企業関係法
- 菊田 健作 講師（経済学部） 54.10.1.
昭54. 3 大阪大学大学院基礎工学研究科後期課程修了

- 担当：経営工学
- 高橋 幸一 教授（工学部） 54.10.1.
昭18. 9 東北帝国大学工学部航空学科卒業
担当：工業計測
- 森田 弘之 助教授（教養部） 54.10.1.
昭46. 3 大阪市立大学大学院工学研究科博士課程単位取得退学
担当：化学
- 平井 通郎 講師（教養部） 54.10.1.
昭46. 3 国際基督教大学大学院教育学研究科修士課程修了
担当：英語
- 岡村 信孝 講師（教養部） 54.10.1.
昭51. 3 京都大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学
担当：哲学

母校に帰り来て

経済学部教授 棚田 良平

富山県は私の生まれかつ育ったところであり、また本学経済学部の前身である高岡高商は私の母校であります。今回故郷と母校に帰ることができまして大変光栄であり嬉しく存じます。人間死期が近づくと郷里を志向するといいますが、今の私にピッチシであります。しかるに悪友達は「犯罪者は現場にたち戻る」と評しています。ヒドイモンダ。高商時代の私は全くイカレタ学生であり、講義をトングラすることに最大の情熱

を傾けておりました。それが母校で教鞭をとることになろうとは——。イヤハヤまことに申し訳ない次第であります。母校での最初の講義には、テレかつとまどいました。私があるべき場所は違うのではなからうか？ 教壇に立つのではなくて、学生机に座るべきではないか、という錯覚に悩まされることしきり。今後は教官らしくなるよう努力いたします。 最敬礼。

富岡敬明の心

経済学部教授 森 蘭 英 輔

山梨大学から転任した数日後、私は実業家で郷土史家の同窓先輩島田駒男氏より著書「甲州大小切騒動と富岡敬明」を頂戴した。大小切騒動とは、明治新政府の地租改正の際、甲州独自の大小切税法の廃止に反対した農民が強訴に及んだため土肥県令が死刑3名を含む厳しい弾圧を行なった事件である。富岡敬明は、当時副知事として農民の説得に努めたのだがこの事件の結末を痛恨事として忘れず、徳島・熊本の県権令を経て退官した後、郷里佐賀へは戻らず再び山梨へ移住して犠牲者の名誉回復や慰霊塔建立に尽力しこの地で没したという。著者は、敬明に佐賀の葉隠武士の真髄を見るところとしてその言行・治績を称賛しておられる。

ところで、島田氏は大小切騒動の犠牲者一門の末裔だそうである。甲州人にとって、敬明は他国者であり、しかも如何に治績が顕著だとは言え先祖を圧迫した行政側の一員に過ぎない。それにも拘らず同氏が敬明をむしろ敬愛の念に満ちた筆致で描いておられるのは何故だろうか。これは、勿論史家としての公平な史観のせいだが、その前に著者が人間として敬明の葉隠魂に強く心を動かされた為だとは言えないだろうか。

私も敬明と同じ九州の鹿児島県出身であり、それだけに今後敬明の心を研究・教育活動における目標の一つとして努力せねば、としきりに思う此頃である。

富山に来て

経済学部講師 菊 田 健 作

長崎県の片田舎で生まれ育ち、大阪で10年近く過ごし、富山へやって来ました。段々と東の方へ移って来ました。赴任したばかりで市内をゆっくり歩いてみたことはありませんし、あれが立山かとじっくり見たことはありません。富山はこれまでに通過したことが一度あるだけで全くの初めてです。

このような私から見て、富山の特徴はやはり夏よりも冬にあると思います。九州育ちですので、せいぜい5cmくらいの積雪しか経験していません。それも1日ぐらいでなくなります。初めてのスキーも楽しみです。一方、ストーブと長靴の用意をせねばなりません。不

安とまたある種の期待感を持ってこれからの冬をどのように過すか考えております。

長崎も大阪も低い山ばかりです。長崎では雲仙を大阪では六甲とか生駒をよく歩きました。早速、富山県の地図を買いました。高い山が多いみたいで、これまでのように簡単にはいかないかもしれませんが、県内のおもな山には登ってみたいと思っています。

長崎もそうですが、富山も魚の美味しい所と聞いています。食べる方も楽しみです。もち論、研究にも励みます。よろしくお願いします。

アメリカと、ヨーロッパと、日本と。

理学部地球科学科助教授 小 畑 正 明

私は、このたび、7年にわたる海外生活にピリオドを打って、新設間もない、理学部の地球科学教室に赴任してまいりました。米国では、ボストンのマサチューセッツ工科大学大学院で学び、ひきつづき同大学で研究員として滞在したあと、スイスのチューリッヒ連邦工科大学で、研究助手を勤めました。米国留学前は、金沢大学と、どういう訳か、私は雪国と縁があるようです。

アメリカとヨーロッパ。いわば現代西洋文明の2つの極で生活を体験する機会を持ち、色々考えさせられることがありました。一つの面白い発見は、私達が、

米国からヨーロッパに移った時、ヨーロッパの社会システムに、日本のそれに似たものをあちこちで見出したことです。これは、日本が明治の文明開化の際、ヨーロッパシステムを取り入れたことを考えると当然であって、ヨーロッパが日本的だというのは話が逆であって、むしろ日本がヨーロッパ的であるというべきかもしれません。特に、米国で5年余りをすごした私達一家にとりましては、ヨーロッパ社会は、米国の競争社会にありがちなストレスは少なく、落ちついた、よいものでしたが、反面、生活に活気がなく、人々のライフスタイル、考え方などにフレキシビリティが

なく、きゅうくつな思いをしばしばしたことがあります。又、大学でも、米国に比べると、アンビシャスな若者が少なく、ヨーロッパ社会は、そういう若者の育ちにくい社会であると見ました。これは、私がいた、スイスという、ヨーロッパの中でも、特に保守的な国にいたので、そういう感じが強かったのかも知れません。

何ごとにつけ、自由なアメリカ社会にいたあとで、ヨーロッパに行ったので、後者に対する点がカラくなってしまったと思うのですが、しかし大学に関して両者に共通して言えることは、建物が立派で、キャンパスが美しく保たれていること、そして、大学の行政、事務機構に、十分な予算をかけ、能率化をはかっているということです。この日本的に見れば、一見ぜいた

くに見えるようなお金のかけ方は、高い生活水準からくる経済的余裕があってできることなのでしょうが、私には、彼ら欧米人の考えの中には、十分な教育、自由な学問を發展させるには、この経済的余裕に支えられた、精神的余裕というものが、エッセンシャルな役割をはたす、という考えが横たわっているように思いました。それに比べて、日本は、経済の高度成長にもかかわらず、まだ、この種の余裕を持ち得る段階には達していないのではないかというのが、私の帰国してまもない時点での卒直な感想です。

これから、この新しい場で、私のいままでに得た知識経験を生かし、私なりに、精神的余裕を見出し、新しい、教育、研究の経験を積んでいきたい、思っているしだいです。

新任の弁

工学部教授 高橋 幸一

今回縁がありまして、当工学部生産機械工学科の方へ赴任して参りました。

私は日産自動車という一企業に、約30年弱の間勤めて来たものであります。そのためか、今でもドライブ旅行等を楽しみにしております。横浜から赴任してくるときも、かつての部下達に整備して貰った車を駆って甲府、松本、糸魚川を経て富山入り致しました。こちらに参りましてからは、本当に暖かい晴れた日が多く驚いて了いましたが、これも、当地方の方々の人情に通じるものと思われました。

こうした中で大学教育に携わることを無上の光栄と思うものでありますが、何事についても初めてのことであり、皆様の御指導によりまして懸命に勉強したい所存であります。

企業における大卒教育に関しましては、今更ご紹介の要もありませんが、組織的には人事部門が中心となって実施されております。これは入社教育に始まり、その後卒年に応じた層別各種集合教育や研修会を経て、

やがて中堅層、初級、上級技術員教育や技師、課長クラスの研修会、部長研修会等々に続きます。その他、人間関係を主体とする教育例えば経労講座等もあり、又各職場毎に特有のカリキュラムをもった集合教育や各種勉強会等もあります。しかし職場におけるローテーションを含めた最前線のO・J・T教育が、実は、最大の教育になることはここに申し上げる必要もありません。

このような会社の第一線で痛感致しますことは、企業にとって本当に必要なことは、結局は人間そのものの教育であり、モラルの育成ではないかということでもあります。それは、日本民族が立派に生き残るためにも、凡ゆる困難に立ち向うことの出来るバイタリティと、健康で明るいモラルの持主であることが、先ず第一ではないかと感じられました。

こうした人間教育を夢として、皆様の暖かいご指導を頂きながら、拙ない経験をもとにお役に立ちたい念願でありますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

新しい出発に

教養部講師 平井 通郎

この度、この十月よりこちらで教鞭をとらせて頂くという栄に浴し、今更乍ら私如き不勉強の身でどこまでやりおせるものかと果たすべき責任の重さを痛感している次第です。ただ、今の私にとっての救いは当地へ参って以来、多くの方々々が色々と親切に御助言下さったり、学生諸君も気まじめで純粋な人が多く早くも研究室に遊びに来てくれたりで親しみが持て

るということです。それにこちら富山の感じがどことなく私が少年時代を過ごした九州(福岡)のその往時の面影と相通じるものがあるということ、これも初めての土地へ来た私にとって大きな安らぎであり慰めです。暫く乍ら住んでみてわかったのですが、空がこんなにも青く流れる水がかくも澄んでいるとは……!「東京には空が無い」と嘆いた佳人がありま

したが その東京からこちらへ来てやっと納得がいきました。私にはもう失われて久しいと思われていた日本の良き美しいものが一つ一つヴェールをぬいで目の前に姿を見せてくれる そんな感じです。これが

らは私にとって またもう一つの新しい出発、一から出直しの心境です。至っての若輩者、どうぞ 今後共宜しく 御指導御鞭撻下さいますように。

雑 感

教養部講師 岡 村 信 孝

「新任の弁を」と編集部より求められて、はたと困ってしまいました。週二コマの講義にふうふう言っている小生には、簡潔に新任の抱負を述べる心のゆとりは生憎とない。で、若干責任逃れになるが、この場を借りて、ドイツの授業風景の一端でも紹介してみたい。

所はボン大学哲学教室。フィヒテのプロゼミ。という「プロゼミ」は、日本で言う「講読」と心得ておけばいい。哲学は、論理や作曲と同じように、余り女性向きでないという抜き難い偏見の持ち主である小生は、最初の時間から驚いてしまった。20才前後の利発そうな女の子がたくさん来ていて、しかも、ひとたび授業

が始まると、ブロンドの髪を無邪気に揺すりながら、なかなかの論客ぶりを発揮する——こういう光景を想像して頂きたい。これを見て、目ならぬ頭の保養にならぬ人はまずいないであろう。

日本人はまだまだ輸入を事とする段階から抜けきっていないように思われる。生活・文化の全般がヨーロッパ化されて既に久しい今日、日本人自身の内部から、そろそろ持続力のある作物が生まれてきてもいいのではあるまいか。この点、我々はドイツの Mädchen の態度に大いに学ぶべき所がありそうだ。

西ドイツ・ロイトリンゲン 教育大学に学んで

教育学部音楽専攻 笈 綱 秀 子

私は1978年10月から1979年7月までの2学期間、西ドイツのロイトリンゲン教育大学で勉強しました。文部省の教員養成大学・学部学生海外派遣制度によって富山大学教育学部からロイトリンゲン教育大学へ留学した学生は私で5人目になります。

ロイトリンゲンは西ドイツの南の方にあり、近くには大学町で有名なチュービンゲンがあります。ロイトリンゲンで学ぶ日本人は私1人でしたが、チュービンゲンには日本のいろいろな大学からきたたくさんの日本人が勉強していて、とても励みになりました。富山大学教育学部の大塚先生も1978年9月から12月始めまで、西ドイツの招きをうけて、チュービンゲンで研究していらっしゃいました。先生は、初めての海外生活で四苦八苦していた私に、西ドイツの生活様式のことなどについて、いろいろ教えてくださいましたので、たいへん助かりました。またマインツ大学には、同じく富山大学教育学部の竹内先生が、文部省在外研究員としていらっしゃっていて、このように親しいお二人の先生方と同じ時期に私もそこで勉強できたことをたいへん幸せに思っています。

ロイトリンゲンには教育大学と工業大学があり、工業大学には、ギリシア、トルコ、南アメリカなどから

たくさん留学生がきていました。私は学生寮にいたのですが、そこにも多くの留学生が生活していました。彼らの多くはすでに2、3年ロイトリンゲンで勉強しているのですが、まだ充分ではないようです、引き続き勉強しています。そのような中であって、私のような短期間の留学を不思議に思ったのか、「どうして2学期間しかドイツで勉強しないのか？」と私に聞くドイツ人学生もいました。

10カ月というのは、終わってみると、とても短いものでした。でも、最初の3カ月は言語や生活習慣、食事に慣れるのが精一杯で、たいへんつらく、長く感じられた時期でした。それまで、私は胃腸薬などは飲んだことがなかったのですが、断続的な胃痛のために、たびたびそれを服用したり、夜眠れなくて困ったりしたのもこの時期です。あの時は「どうしてひとりでこんなところへ来てしまったのだろう」と半ば後悔しながら自分のした行為に対して改めて驚きと恐れを感じました。

週末はロイトリンゲン大学の音楽の教授で、私の指導教官であるシュティーフェル教授のお宅で過ごすことが多く、奥様からは、ドイツのお料理や庭に育った果実を使ったケーキの作り方をたくさん教えて頂きま

した。シュティーフル教授御夫妻は、1977年秋に来日され、富山でも幾つかの講演をなさいました。

私はロイトリンゲン教育大学で、主に音楽教育に関する講義・実技・演習に参加しましたが、その中で、毎週金曜日に行なわれた Schulpraktisches Seminar (学校実習演習) が私にとって最も興味深いものでした。これは専攻別で行われ、私の場合ですと、音楽専攻の学生が7、8人ずつのグループになり、教授の指導により指定された学校の指定された教師のもとで行う演習ですが、このようにひんぱんに子供たちと接することができるおかげで、大学での専門の講義、実技と実際に行う授業、教育法との結びつきが容易になり、学生自身の勉強もより実践的になっているように思いました。

私は日本の「子守り歌」を教材にして実習しました。3年生、4年生、5年生それぞれのクラスで試みましたが、生徒たちばかりでなく、演習仲間である学生たちにとっても興味深い、印象深い授業になったようです。生徒たちはすでに外国語(英語)の歌も経験していて、日本語の歌にも違和感なく楽しんでいました。

しかし、他の学生たちのテーマはもっと生活に密着したものでした。たとえば、冬学期1978/79には生徒

たちを約6人ずつのグループに分け、それぞれのグループが一つのコマーシャルを作るという作業を4時間かけて行ないました。西ドイツのテレビの普及率は日本ほど高くなく、放送時間も短いので日本の子供たちの場合とは違っていますが、これは、将来、表題音楽(Programmusik) を子供たちに理解させる手がかりとなるものとして行われました。子供のもつ創造力は本当にすばらしいもので、このような生徒の創造力と興味を生かした授業が毎回行われるので、私はこの演習がたいへん楽しみでした。生徒数が1クラス25人以下ということにもたいへん驚きました。西ドイツでは近年子供の人口の減少が社会問題となっていて、生徒が少ないためか、教室がとても広く感じられました。

ヨーロッパ大陸の一国、西ドイツでの生活は、私にとって本当にすばらしい体験でした。ドイツ人の暖かな人柄に触れ、その古い歴史の重みを感じ、そして島国である日本の特性を思いました。この世界の中に、日本の感覚とは全く別の感覚で生きている人たちがいる、国がある、ということを実感できることは、とても重要なことであり、すてきなことだと思います。西ドイツで知り合った多くの親切な人たちとの出会いを大切に、これからもずっとそのつながりを持ち続けたいと思っています。

===== 学 部 だ よ り =====

● 人 文 学 部

===== 考古学研究室開設記念講演会 =====

今春考古学研究室が開設され、10月には第一期生を迎えたので、記念の講演会を10月13日に開催した。併せて一週間にわたり研究室所蔵資料および寄託保管資料を展示。本学初の催しとして学内外多数の参加を得て、好評であった。講演者は次のとおりである。

● 経 済 学 部

。経済学部では、昼休みを長くしてほしいという学生の要望に応じて、後期から1～2時限及び3～4時限の間の休みを各々5分短かくして、昼休みをその分だけ長くした。新しい授業時間帯は、1時限：9：00～10：40、2時限：10：45～12：25、3時限：13：15～14：55、4時限：15：00～16：40、である。

。経済学部の学生ゼミナール協議会主催の講演会が11月12日に、東京大学名誉教授で現在沖縄国際大学教

＝ 富山県考古学の現状と課題 ＝

富山考古学会会長 湊 農氏

＝ 富山県埋蔵文化財保護行政の現状と課題 ＝

富山県埋蔵文化財センター所長 竹内俊一氏

授の玉野井芳郎先生を講師にお招きして、「国家と経済」というテーマで行われた。100名以上の聴講者があり、若干ながら学外の、それもかなり年配の方が聴講に来られたことは喜ばしいことである。学生ゼミナール協議会では例年このような催しを企画しているので、他学部の学生諸君もこのような機会にぜひ多数聴講していただきたいと思う。

保健管理センターだより

〜〜 相談室の窓口から 〜

カウンセラー 高尾テルノ

人間は、さまざまな悩みにとらわれています。

特に、青年期においては、多様化した価値観や人生観の氾濫の中で、将来の生き方に疑問を感じたりするのは当然でもあり、青年期特有の自立への焦りや、新たな友人関係などで悩みが増えてきます。

これらの問題解決のために戸惑い、学業への道を見失ったり、孤立化して自分の殻の中に閉じこもったりする人が出てきます。また、恋愛や性の問題で一人苦しむこともあり、時には、爆発的な衝動に駆られることもあります。

「学問とは」あるいは「人生とは」といった大きな問題から日常生活の些細なことともいえるような諸問題にいたるまで、悩みの種はつきません。

～悩みがあるからこそ人間であるのです～

例えば、来談者の例を挙げてみますと、

1. 修学上の問題（転部、転科、他大学への編入、留年、休学）
2. 精神的な問題、性格、対人関係の問題（結婚、

恋愛、友だちが出来ない）

3. 経済および生活上の問題（アルバイト、下宿（寮）を替わりたい）
4. 身体的な問題
5. クラブ、サークル問題
6. その他（悪徳セールスにひっかかった、落し物、紛失物など）

学生相談は、この様なみなさんの個人的問題の相談に応ずるために設けられています。

私たちカウンセラーは、個人の秘密事項は絶対に守ることになっております。どんなことでも遠慮なく打ち明けて相談してほしいと思います。

お互に、人間同志として話し合い相談しているうちに解決の糸口の見つかることがしばしばあるものです。とにかく何か問題が生じたなら、具体的な問題でなくとも漠然とした不安など、みなさんにとって、判断に苦しみ、助言を求めたい問題がありました時には、一人でくよくよ悩まずに、気軽に来談してください。

保健管理センター利用状況調

(1) 病類・学部・男女別

(昭和53.4～54.3)

病名	学部		文理学部		人文学部		教育学部		経済学部		理学部		薬学部		工学部		教養部		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
風邪	103	28	2	6	12	67	92	3	33	14	468	302	173	0	177	45	1060	465		
胃腸の疾患	33	18	3	3	10	37	38	1	11	9	299	216	32	0	89	43	515	327		
打撲、捻挫突き指	35	12	11	1	7	52	70	0	4	11	251	155	56	0	80	38	514	269		
切傷、擦過傷刺傷	112	27	2	3	28	84	71	14	19	6	263	171	199	0	267	77	961	382		
眼の疾患	9	2	0	2	2	21	13	0	4	8	101	57	15	0	12	15	156	105		
歯、口腔の疾患	3	3	0	0	6	5	21	1	6	5	215	128	23	0	7	3	281	145		
皮膚の疾患	8	0	2	0	1	8	5	0	1	3	178	101	3	0	6	0	204	112		
火傷	19	7	0	1	2	7	9	1	2	9	36	22	12	0	9	5	89	52		
耳鼻の疾患	3	0	0	0	0	2	0	0	0	1	26	12	5	0	0	1	34	16		
貧血	0	6	0	1	0	3	1	0	0	1	51	40	3	0	2	5	57	56		
健康相談	1	0	4	1	0	2	27	0	0	7	736	523	10	0	0	1	778	534		
その他	3	4	2	0	2	10	3	2	1	1	49	47	61	0	2	3	123	67		
休養	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	63	36	2	0	0	0	65	38		
検査	血圧	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	14	0	2	0	18	1		
	検尿	13	1	0	0	2	23	22	0	1	1	0	78	0	9	8	125	33		
合計	343	110	26	18	72	321	373	22	82	77	2736	1810	686	0	662	244	4980	2602		
利用回数(1人当たり)	0.07	0.02	0.005	0.003	0.01	0.07	0.08	0.004	0.01	0.01	0.60	0.40	0.15	0	0.14	0.05	1.10	0.57		

(2) 学 生 相 談

項目	件 数	延 人 数
修学・性格に関するもの	4 2 件	5 3 件
健康・精神医学に関するもの	7 5	1 6 6
そ の 他	4	4
計	1 2 1	2 2 3

==== 本 部 だ よ り =====

● 本部施設課から

硬式テニスコート奥に五福構内汚水処理合併処理槽を建設中で、軟・硬式テニスコート、部室、自動車駐車場等各所で不便をかけておりますが、この工

事は12月20日完成予定でありますので御了承をお願いします。

==== 学 生 部 だ よ り =====

課外活動、とくに体育系の課外活動における事故発生時の対応措置について、体育部会（昭和54年11月2

日）並びに補導協議会（11月8日）において、下記のこと審議され、了承されました。

課外活動等における事故発生時の対応措置について

（目 的）

最近、学生の課外活動は、その多様化とともに、活動中における事故の発生率も高く、特に危険を伴うサークル（例えば山岳部、ワンダーフォーゲル部、ヨット部、自動車部等）にそれがみられる。

このような状況にあるとき、本学として、これらの事故が発生した場合の対応措置を平素より整え、事態収拾を速やかに行うことを目的とする。

（連絡体制）

活動サークル等の責任者より、事故発生の報告を受けた者は、別紙「課外活動等事故に係る学内連絡体制」に基づき速やかに関係者への連絡を行う。

（対策本部）

1. 学生部長は事故の状況を勘案し、関係者と協議のうえ対策本部を設置する。

なお、対策本部の事務室は、原則として本学学生部長室におく。

2. 本部長には学生部長があたり、その要員には本学の学生部職員、関係教職員・学生及び学外関係者をもってあてる。

3. 組織及び任務は、次のとおりとする。

(1) 本 部 長

本部員を指揮監督し、事態の収拾にあたる。

(2) 副本部長……………（1名）

本部長を補佐するとともに報道機関との対応にあたる。

(3) 連絡班……………（若干名）

事故発生現地との連絡にあたり、その実態を的確に把握し、事態処理の判断資料の作成にあたる。

(4) 記録班……………（若干名）

事故発生にいたる経緯並びに事故処理の経過の記録にあたる。

(5) 渉外班……………（若干名）

警察本部など関係機関、団体及び学生、父兄等への渉外的事項の処理にあたる。

(6) 庶務班……………（若干名）

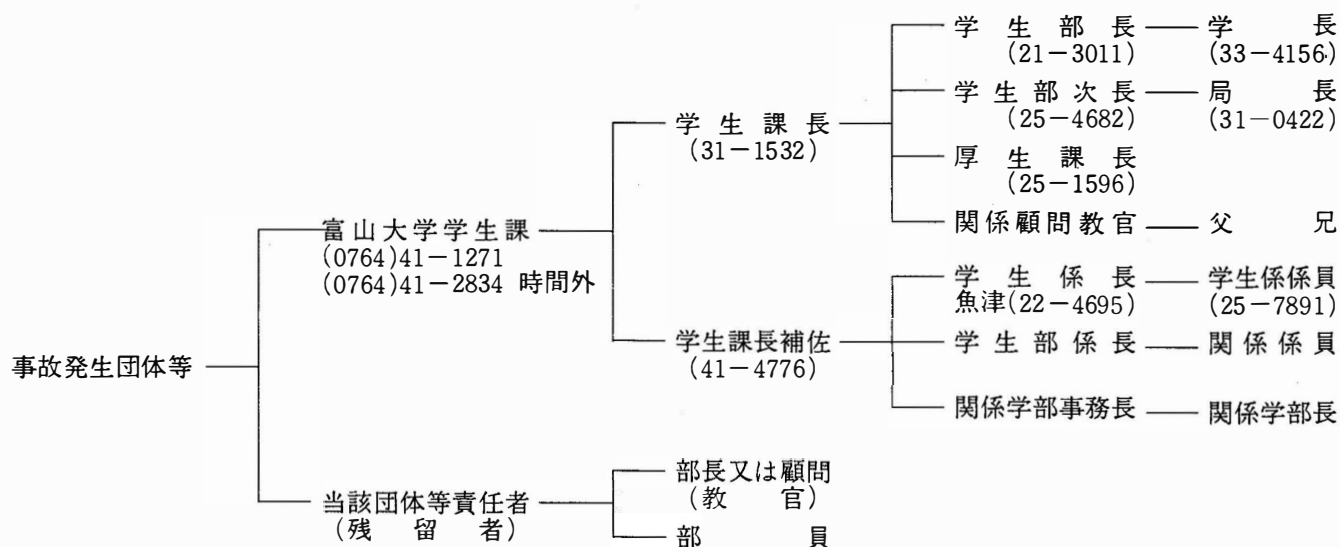
学内関係部局との連絡及び庶務的事項の処理にあたる。

なお、(2)以下の分担は、前項の本部要員の中から学生部長が指名する。

4. 必要に応じて連絡、救援等にあたるため、事故現地派遣の組織を随時編成する。

5. 事故の状況により、対策本部の設置を要しないと学生部長が判断した場合は、学生部長の指示により関係者において事故の収拾にあたる。

課外活動等事故に係る学内連絡体制



(注) 連絡を受けた場合は学生部長，次長，学生課長，補佐，学生係長は速やかに登学(学生部長室)するものとする。

第31回北陸四大学学生総合体育大会団体成績一覧表

種 目		優 勝 杯	1 位	2 位	3 位	4 位
男	陸上競技	金沢大学長杯	金沢	富山	福井	富医
	野球	富山大学長杯	金沢	福井	富山	
	庭球	富山県体育協会長杯	金沢	富山	福井	富医
	軟式庭球	石川県知事杯	福井	金沢	富山	富医
	卓球	金沢市長杯	金沢	福井	富山	富医
	バドミントン	福井市長杯	金沢	富山	福井	富医
	バレーボール	福井県知事杯	金沢	福井	富山	富医
	サッカー	石川県知事杯	富山	金沢	福井	富医
	ラグビー・フットボール	富山県知事杯	福井	金沢	富山	
	剣道	福井県議会議長杯	金沢	富山	福井	富医
	柔道	富山県議会議長杯	富山	金沢	福井	
	バスケットボール	福井大学長杯	金沢	富山	福井	富医
	水泳	福井大学学生部長杯・金沢市議会議長杯	金沢	福井	富山	
	ヨット	石川県議会議長杯	富山	金沢	福井	
	準硬式野球	福井大学父兄後援会杯	福井	金沢	富山	富医
	ハンドボール	金沢大学長杯	富山	福井	金沢	
空手道	福井市長杯	富山	金沢	福井	富医	
弓道	富山大学長杯	金沢	福井	富山		
体操	福井市議会議長杯	金沢	福井			
女	陸上競技	富山県体育協会長杯	金沢	福井	富山	富医
	庭球	石川県議会議長杯	福井	金沢	富山	富医
	軟式庭球	福井県体育協会長杯	金沢	福井	富山	富医
	卓球	石川県体育協会長杯	福井	富山	金沢	富医
	バドミントン	福井県教育委員会杯	金沢	福井	富山	富医
	バレーボール	富山大学後援会長杯	金沢	富山	福井	富医
	バスケットボール	富山市議会議長杯	金沢	福井	富山	富医
	弓道	小杉スポーツ杯	富山	福井	金沢	富医
水泳	福井大学長杯	金沢	富山			

●学生部の一時移転について

本部庁舎等の新改築に伴い、学生部の庁舎が一時旧薬学部図書室（和漢薬棟1階北側）に移転をし、10月11日より当該場所で執務しております。本部庁舎の改

築は3月末日で完成する予定ですが、学生部の都合により4月末日迄旧薬学部図書室、5月初めから元の本部庁舎に移る予定であります。

昭和54年度授業(後学期)日程表

54.4.1

学部等	学年	後 学 期		冬 期 休 業	備 考
		授 業(補講を含む)	期 末 試 験		
教養部	1	1/15 ~ 1/22, 1/16 ~ 2/22	2/25 ~ 3/1	1/24 ~ 1/15	
文理学部	4	1/15 ~ 1/22, 1/16 ~ 2/19	—	1/24 ~ 1/15	試験は授業終了後各専攻ごとに行う
人文学部	2.3	1/15 ~ 1/22, 1/16 ~ 2/19	—	1/24 ~ 1/15	〃
教育学部	2.3.4	1/24 ~ 1/27, 1/7 ~ 2/16	2/18 ~ 2/23	1/28 ~ 1/6	教育実習10~12/12, 13共通第1次試験実施の場合は1/11, 12休講
経済学部	2.3.4	1/15 ~ 1/22, 1/9 ~ 2/12	2/15 ~ 2/26	1/24 ~ 1/6	1/12, 13共通第1次試験実施の場合は1/11(3.3限)及1/12休講
理学部	2.3	1/15 ~ 1/22, 1/16 ~ 2/19	—	1/24 ~ 1/15	試験は授業終了後各専攻ごとに行う
工学部	2.3.4	1/15 ~ 1/22, 1/16 ~ 2/26	—	1/23 ~ 1/15	試験日は指定しない

昭和54年度 後学期専門移行者調

(54.10.1付)

学部・学科	入学年度	専 門 教 育 課 程 移 行 者 数					計	移行不許 可者数	移行対象 者数
		49	50	51	52	53			
文理学部文学科							4	4	
文理学部理学科				1		1	6	7	
計				1		1	10	11	
人文学部人文学科						61	61	79	
人文学部語学文学科					1	67	68	83	
計					1	128	129	162	
小学校教員養成課程					1	131	132	133	
中学校教員養成課程				1		45	46	50	
養護学校教員養成課程						13	13	17	
幼稚園教員養成課程						27	27	29	
計				1	1	216	218	229	
経済学部経済学科					6	103	109	127	
経済学部経営学科			1	1	4	107	113	135	
計			1	1	10	210	222	262	
理学部数学科					1	29	30	39	
理学部物理学科					1	31	32	43	
理学部化学科					1	34	35	41	
理学部生物学科					4	27	31	34	
理学部地球科学科						25	25	31	
計					7	146	153	188	
工学部電気工学科					3	35	38	55	
工学部工業化学科						33	33	44	
工学部金属工学科					1	21	22	40	
工学部機械工学科		1			1	36	38	54	
工学部生産機械工学科						33	33	42	
工学部化学工学科					1	26	27	42	
工学部電子工学科					6	34	40	48	
計		1			12	218	231	325	
合 計		1	1	3	31	918	954	1,177	